

第1回世界選手権大会 ~イギリス・ノッティンガム~

JAPAN SPORT
COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

鈴木選手初戦突破！

編集:山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年7月20日(月)

【タイムスケジュール】

7時	朝食
8時	ホテル出発
8時半	練習
9時半	試合開始
18時15分	ホテル着
18時20分	クールダウン
18時50分	洗濯
19時50分	夕食

【スタッフの所感】

雨で試合中断が数回あり、榛地選手の試合終了後から本降りになつたため、インドアにて試合継続。一日で全種目を行うため試合が長引き、17時半の榛地・山口のミックスダブルスは延期になりました。

この大会は、全てITF(国際テニス連盟)のルールに則り開催されています。
なので、1回戦からCU(主審)とラインアンパイア(線審)がつきます。ボールチェンジも11/13(※)です。
練習用のボールも全て用意されており、毎試合ドリンクも二本あります。また、プレイヤーラウンジもあり
フリーWi-Fiも完備されています。
全て一般大会と変わらず、選手が試合に集中できる環境です。

(※)…試合スタート時のウォーミングアップ5分が、2ゲームと換算され、最初は11ゲーム毎に試合球
4球全てニューボールに変えます。その後は13ゲーム毎に変えます。

【試合結果】

男子シングルス

- 鈴木裕将 6-3,6-0 ●Sergey Lapikov(ロシア)
●榛地英征 3-6,2-6 ○Prithvi Sekhar(インド)

女子シングルス

- 山口華恵 4-6,1-6 ○Parul Gupta(インド)

【選手レポート】

報告:①種目 ②対戦相手 ③試合結果 ④試合内容

コメント:①頑張ったこと ②反省 ③今後への課題

★鈴木裕将

報告

- ①シングルス
②Sergey Lapikov(ロシア)
③2-0(6-3,6-0)
④1セット目は相手の特徴を探るために、3ゲームは球種とコースを
打ち分けてプレー。
ラリーのスピードに慣れてきたところでドロップショットを駆使。
2セット目はプレッシャーをかけに前へ詰め、決め球を多く打ちに行った。

コメント

- ①ファーストサービスの確率を上げて入れていけたこと。
②相手のサーブを高い打点から打ち返す時の安定感が足りなかった。
③ストロークのスピードを速く、安定して入れるように意識する。



ロシアのSergey Lapikov選手と記念撮影

★榛地英征

報告

- ①シングルス
- ②Prithvi Sekhar(インド)
- ③0-2(3-6、2-6)
- ④互いにサーブリターンを丁寧に返し、ストローク戦になった。展開としては私が攻めて向こうが守りとカウンターという形だった。ディフェンス力が高く、なかなかミスをしないため、こちらの決め球にミスが出て負けてしまった。

コメント

- ①バックハンドのリターンをしっかり返すことができた。アプローチからのネットプレーでのポイントをしっかり取れた。
- ②サービスラインあたりのチャンスボールをしっかりと決め切ることができなかったこと。相手がスピinn系のボールを打つタイプだったので、両手バックハンドで対応していたが、片手バックハンドで返球する癖が所々に出てしまった。
- ③ディフェンス力が高い相手の攻略方法をもっと色々考えていかなければならぬ。

★山口華恵

報告

- ①シングルス
- ②Parul Gupta(インド)
- ③0-2(4-6, 1-6)
- ④お互いストローク戦に。相手に合わせて打ち合うパターンが多かった。初の国際大会で想像していた以上に今までないくらい緊張して気持ちだけが前に行ってしまい自分のリズムが合わないなど、思うようなプレーが出来ず課題の多い試合になった。デュースが多く一球の重み、試合に勝つメンタル、自分のベストなプレーを出すことの難しさを改めてとても実感した。

コメント

- ①苦手意識のあったフォアをポイント取れたことが良かった。汚いテニスもしてみたが、最後まで自分のパフォーマンスを表現することは諦めなかつた。
- ②緊張のあまり動きが固かつたのと、本来の自分のテニスが出来なかつたこと。相手の弱点を狙つたが、とても良いプレーしてきたので、手が付けられない状態になつたこと。
- ③相手に返球するテニスではなく、自分にあつた試合運びを持つべきである。大会経験を積み重ねる必要がある。



インドのPrithvi Sekhar選手と記念撮影



インドのParul Gupta選手と記念撮影

試合無し

観戦レポート: ①種目 ②選手名

★梶下怜紀

- ①シングルス
- ②鈴木選手、榛地選手、山口選手

鈴木選手

ミスを極力減らすように心がけ、相手に攻められないような配球をしていた点がよかったです。このプレーをベースにもっと角度をつけるショットや決めに行くボールをしっかりと打ち切ればさらに良くなるのではないかと思いました。

榛地選手

フォアハンドを軸に攻めていた点はよかったです。しかし、イージーミスが多かった点はもったいないと思いました。今回の試合で、バックハンドが両手で打つ場面もあれば片手で打っていたりしていたこともあった。迷いを持ったまま試合に入ってしまったところが敗戦につながったようにも感じました。

山口選手

全体的にミスが多いように感じた。相手選手に合わせて返球する、もっと自分で試合の流れをつかむ、コントロールしようとしてもいいのではないかと感じました。